

1月 食育だより



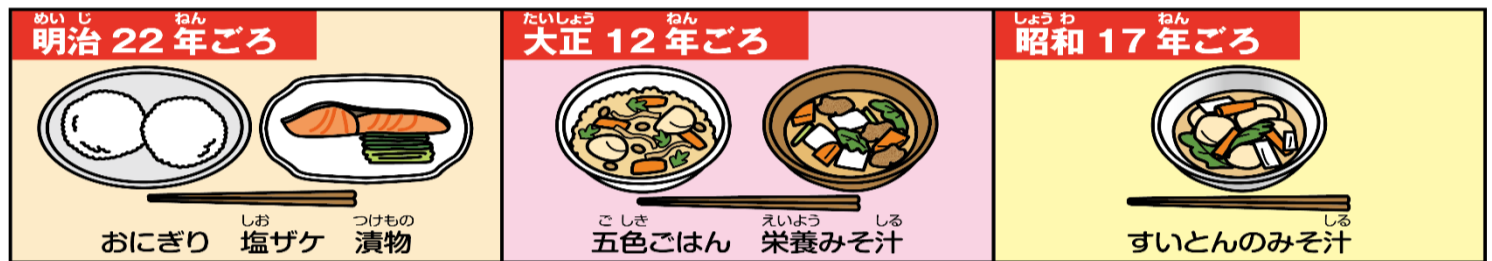
令和7年1月
南砺市立城端中学校

あけましておめでとうございます。今年も安全でおいしい給食を作っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願
いいたします。いよいよ最後の学期となりました。3学期も元気に学校生活を送れるよう、栄養バランスのよい食事を摂
り、体の抵抗力を高めて寒さに負けない体を作りましょう。

全国学校給食週間

学校で食べる給食は、単なる昼ごはんではなく、栄養バランスのとれた豊かな食事を通して、健康に良い食事の摂り
方、地域の産業や食文化、食べ物とそれに関わる人への感謝の気持ちなど、様々なことを学ぶための教材となります。
このように、現在ではさまざまな教育的効果が期待される学校給食ですが、元々は、おなかをすかせた子供たちのため
に、学校で昼ごはんを提供したことが始まりでした。今年も学校給食がたどった歩みを、実際に体験してみましょう。

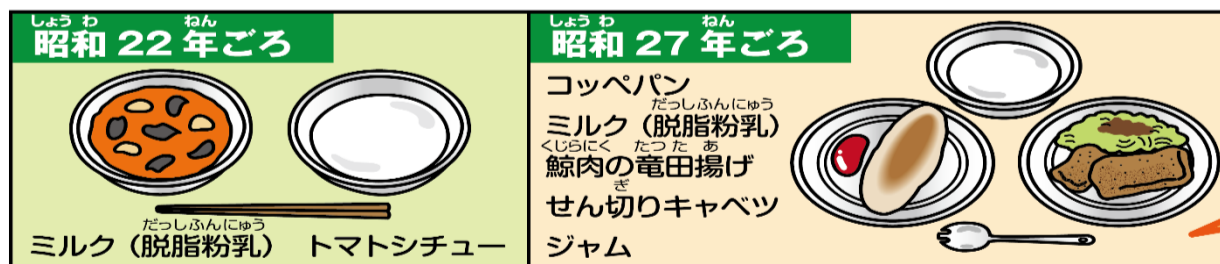
学校給食の始まり



日本の学校給食は、1889（明治 22）年、^{やまがたけんつるおかまち}山形県鶴岡町（現・鶴岡市）にある^{だいとくじ}大督寺というお寺の中に
建てられた私立忠愛^{ちゅうあい}小学校で始まったとされています。大督寺のお坊さんが家を回ってお経を唱え、い
ただいた米や野菜、お金を使って、貧しい家庭の子供たちに食事を用意しました。その後、学校給食は、
子供たちの栄養を改善するための方法として国から奨励され、各地へ広まっていきました。しかし、戦争
による食料不足の影響で実施できなくなってしまいました。

支援物資による学校給食の再開

戦争が終わり、子供たちの栄養状態の悪化が心配されたことから、1946（昭和 21）年
に、アメリカのLARA（アジア救援公認団体）から給食用物資の寄贈を受け、翌年1月か
ら学校給食が再開されました。当初は給食用物資の贈呈式が行われた12月24日を「学
校給食感謝の日」としましたが、1950（昭和 25）年度からは冬季休業と重ならない1月
24日～30日を「全国学校給食週間」とすることが定められました。



昭和25年に、アメ
リカから寄贈された
小麦粉でパンが作ら
れ、「パン・ミルク・
おかず」の完全給食
が始められました。

学校給食は教育活動に



1954（昭和 29）年に「学校給食法」が公布・施行され、学校給食は教育活動として実施されること
になりました。それから時代の移り変わりとともに、子供たちの食生活を取り巻く環境は大きく変化し、
学校給食の内容も変わっていきました。



昭和30年代後半には脱脂
粉乳のミルクが牛乳へと切り替
わり、コッペパン以外のパンやソ
フトめんなど、主食の種類が増え
ていきました。米飯が正式に導入
されたのは昭和51年のことです。